

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |            |    |              |
|----------------|------------|----|--------------|
| ○事業所名          | リトルぱれっと    |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | R7年 1月 20日 |    | ~ R7年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)     | 29 | (回答者数) 22    |
| ○従業者評価実施期間     | R7年 1月 20日 |    | ~ R7年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)     | 10 | (回答者数) 10    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 年 月 日      |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 集団行動での悩み、トラブルを回避する為の支援                     | ・活動を児童自身に選択してもらい、集団レクをスタッフ側から提示し支援に繋げている<br>・集団での活動(イベント等)を通して、ルールや振り返りを行い社会性を支援している | 振り返り、SSTを行い、事案の意見交換や他者の考えを聞き、主観的思考の幅を広げている                       |
| 2 | 専門性のあるスタッフによる支援、療育                         | コミュニケーションや学習面での躓きの理由をスタッフと共有し経験値を高め、成功体験を多く積んで、集団生活や学校生活での困り感を軽減出来る様に支援している          | 担当者会議や、保護者からの聞き取りにあげられた要望に沿った支援を行い、その都度専門的視点からの意見を共有し随時支援を変更している |
| 3 | 月案によるプログラムのカリキュラム化                         | 年齢差による縦割りのコミュニケーションの場を設ける事で自身からみた年齢の上下での関わり方を経験し、楽しい時間を過ごせられる様に支援を行っている              | 児童に必要とされる、SST,LST(ライフスキルトレーニング)、レクレーションを通しての集団行動、切り替えの支援を行っている   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                      | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 下校時間と提供時間少ない時間の中での支援                       | 高学年に上がるにつれ、提供時間が減少していく中で、児童の成功体験やコミュニケーションをとる時間が限られている | 児童の成長に合わせて、自宅で取り組めることは保護者に報告しつつ分断し、集団活動やスキルトレーニングが出来る時間を設けている   |
| 2 | クールダウン、気持ちを落ち着かせる環境が限られている                 | 事業所が仕切りのないフロアとなっているので、児童それぞれの取り組みに意識が向き、集中が難しくなっている    | 学習時は仕切りのある個別デスクや学習室の設置、また事業所が増設しているので、利用する部屋を変えて児童に合った環境を設定している |
| 3 |  |  |   |